

レクリエーション報告 ～天草で船釣り体験&海の幸に舌鼓～

絶好のお天気に恵まれた11月3日、レクリエーション企画「上天草市出港！！遊漁船釣りと食事・温泉」を行ないました。今年は、天草で船釣り体験、そして昼食は近くのホテルで海の幸を堪能するプランです。以前より組合員からの釣りをしたいとのリクエストもあり、釣り体験ツアーを初めて企画しました。

当日は、熊大本荘中地区に8時集合、大型バスで天草へ向かいます。今回の参加者は、全員で25名（組合員16名、ご家族9名）、子どもさんやご夫婦の参加もありました。途中休憩をはさみ、旧1号橋を渡って上天草市大矢野の鳩之釜漁港へ約1時間半で到着後、自家用車での参加者と合流し、準備をしながら初めての釣りにワクワクしていました。

3つのグループに分かれて乗船後、すぐにライフジャケットを装着し、船長さんに餌の付け方を教わります。エサとして使用するエビは、できるだけ新鮮の内に2つの針につけます。海中でぐるぐる回らないように背中をまっすぐに固定するのがポイントです。しかし、これにはコツがいるらしく、初心者にはちょっと難しかったようです。船長さん曰く“通常の船釣りは、朝の5～6時に出発し、昼ぐらいには終わる”とのことでした。私たちのように午前10時に出発することになった短時間の釣り体験は、“本当に「体験」だけで終わるかもしれない”と言われ、大漁を期待して大きなクーラーボックスを用意している中、ボウズ(釣れないこと)だったらどうしようかと不安も出てきました。しかし、もともと初心者に近い方が多く参加していることもあり、そんなことをあまり気にせず、いざ出航です。短時間の勝負でもありましたので、比較的漁港から近いポイントで釣り開始直後、心配していたのが嘘のように、投げ入れた1投目でG氏にアタリがきました。皆で“早っ！”とツツコミながら獲物が上がるのを待つと、な・なんと釣れたのはサメ！G氏、釣り経験者とはいえ凄いです。私もなんとかガラカブや鯛を釣ることができました。魚のアタリをミスしてバラしてしまった(取り逃がす)時に子どもに“わー、エビが釣れた！！凄い！！！”と言われた時は、“このエビは最初に餌としてつけてたでしょ”と恥ずかしながら説明したりもしました(笑)。



船釣り体験の様子

楽しい時間は早く過ぎるもので、釣りに夢中になっている内に、すでに12時過ぎ。急いで漁港に戻ります。別の船の釣果も聞いてみましたが、やはり一番釣ってそうなのは最初にサメを釣りあげた経験者のG氏だったようです。今回は、五目釣りも達成した模様、やはり凄いです。参加したほぼ

全員が釣ることができて、初心者の方にも楽しんでいただけた船釣り体験になったのではないのでしょうか。最後に、船長さんが朝から釣り上げ、船のいけすで泳がせていた真鯛をお土産にいただき、参加者全員が大満足で下船しました。

昼食は漁港近くのホテル松竜園「海星」でいただきます。釣った魚をその場で調理するまではできませんでしたが、天草の魚を釣った後に天草の新鮮な魚が食べられるなんて贅沢な体験です。お刺身がメインの食事にとっても満足しました。

ホテルでは、温泉施設も利用することができ、釣りで疲れた体を癒すことができました。私の知らないところではトラブルも発生。なんと女湯では温度調整がうまくできていなかったため、体を温めることができなかつたみたいです。女性陣には申し訳ありませんが、男湯はいいお湯でした。

ホテルを出発して5分もしないうちに「藍のあまくさ村」に到着。お待ちかねのお土産タイムです。帰りは、新一号橋を渡り、一路熊本市へ向かいます。帰りの車中では、ほとんどの方が熟睡していました。今回の企画を担当した私もいつの間にか寝てしまったようで、目を覚ました時にはすでに熊本市内の産業道路を通過中でした。1日かけたレクリエーションの船釣り体験でしたが、日頃の疲れも忘れて、楽しく充実した1日となり、参加した皆さんも楽しんでいただけていたようです。



お食事



集合写真(大型バス乗車の皆様)

組合では、毎年レクリエーションを企画していますが、今回の企画は今までで一番とっていいほど好評でした。皆さんからの強い要望があれば、次回も船釣り企画があるかもしれません。ご期待ください！！

レクリエーション部会ニュース	NO. 3	熊本大学教職員組合レクリエーション部会
	2018. 11. 19	内線 3529 ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp